



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 スペースシャワー-SKIYAKIホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL <https://sssk-hd.com>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名） 林 吉人
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名） 酒井 真也 TEL 03-6478-2394
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,158	9.0	613	1.2	630	△0.7	366	5.9
2026年3月期第1四半期	5,650	14.8	606	159.7	635	161.3	346	125.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 383百万円（4.9％） 2026年3月期第1四半期 366百万円（128.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	22.60	—
2026年3月期第1四半期	21.11	—

（参考）持分法投資損益 2027年3月期第1四半期 ー百万円 2026年3月期第1四半期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	17,019	8,831	51.4
2026年3月期	18,416	8,938	48.0

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 8,740百万円 2026年3月期 8,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2026年8月10日）公表いたしました「中間配当の実施及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	0.6	2,000	2.2	2,050	2.3	1,220	1.8	75.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	17,029,205株	2026年3月期	17,029,205株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	818,708株	2026年3月期	740,848株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	16,238,112株	2026年3月期1Q	16,412,319株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げの継続や設備投資の拡大を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の関税政策に起因する世界的な通商摩擦の激化や、それに伴う円相場の不安定な推移、中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりや原油価格の不安定な推移によるエネルギーコストの変動など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する音楽・エンタテインメント業界においては、引き続き活況を呈しております。前述のような世界情勢による直接的な影響は軽微にとどまっているものの、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も強まっており、価格帯や体験価値に応じたコンテンツ・サービス設計がより一層求められております。加えて、AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、コンテンツ制作や流通・消費の在り方も大きく変化しており、従来型のビジネスモデルの変革と多様化するファンのニーズへの柔軟な対応が、重要な経営課題となっております。

このように多様化し変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年4月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした新たな企業体制を構築してまいりました。グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」の2年目となる当連結会計年度においては、引き続きコンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて持続的な発展を実現してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、株式会社スペースシャワーネットワークのライブ事業で、日本最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」を幕張メッセ国際展示場にて開催しました。開催5周年を記念して初の3日間開催と会場拡大により過去最大規模での公演を行い、約4万5千人の動員やYouTube生配信の総視聴回数が230万回を記録するなど反響を呼びました。また、株式会社SKIYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan Pro」

「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が180.0万人（同25.2%増）と好調に推移しました。さらに、インフィニア株式会社のエンタテインメントカフェ事業においても、高い稼働率を実現し順調な滑り出しを見せております。

これらの取り組みの結果、売上高は6,158,766千円と前年同期比508,514千円増（同9.0%増）となりました。また、各段階利益につきましては、営業利益は613,533千円と前年同期比7,291千円増（同1.2%増）、経常利益は630,946千円と前年同期比4,466千円減（同0.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は366,914千円と前年同期比20,498千円増（同5.9%増）、EBITDAは768,510千円と前年同期比13,013千円増（同1.7%増）となりました。なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

①コンテンツセグメント

エンタテインメントカフェ事業においては、好調な稼働率に加え、昨年5月に「あつとほおーむカフェ名古屋大須本店」を新規出店したことによる収容人数の増加などにより、前年同期比で増収増益となりました。ライブ事業においては、5周年を記念した「POP YOURS」が初の3日間開催および会場拡大により過去最高の動員数を記録し、売上は堅調に推移いたしました。一方、規模拡大に伴うイベント原価の増加により、増収減益となりました。アーティスト事業においては、所属アーティストのツアー開催や楽曲配信売上の増加があったものの、前年同期に実施した大型ライブの収益の反動減が影響し、増収減益となりました。

この結果、売上高は3,112,874千円と前年同期比204,621千円増（同7.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は370,077千円と前年同期比104,301千円減（同22.0%減）、セグメントEBITDAは445,753千円と前年同期比97,450千円減（同17.9%減）となりました。

②ソリューションセグメント

プラットフォーム事業において、ストック収益であるファンクラブ売上とフロー収益のEC売上が好調に推移したことにより、増収増益となりました。また、クリエイティブソリューション事業においても、映像制作や受託イベント受注などの案件獲得が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は3,045,891千円と前年同期比303,893千円増（同11.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は241,896千円と前年同期比110,630千円増（同84.3%増）、セグメントEBITDAは321,197千円と前年同期比109,501千円増（同51.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が508,155千円、仕掛品が129,643千円、その他（流動資産）が174,949千円、投資有価証券が99,990千円増加した一方で、現金及び預金が2,233,347千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,397,381千円減少し、17,019,247千円となりました。

負債は、繰延税金負債が128,267千円増加した一方で、未払法人税等が469,003千円、預り金が452,693千円、賞与引当金が336,349千円、役員賞与引当金が75,929千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,290,146千円減少し、8,187,711千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより自己株式が54,760千円増加した一方で、利益剰余金が40,294千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ107,235千円減少し、8,831,536千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,072,994	4,839,646
受取手形及び売掛金	3,354,602	3,862,757
商品	90,642	117,858
仕掛品	154,530	284,173
貯蔵品	7,340	7,015
その他	506,827	681,777
貸倒引当金	△43,369	△43,597
流動資産合計	11,143,567	9,749,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,447,446	1,462,632
機械装置及び運搬具	10,287	10,287
工具、器具及び備品	733,304	769,009
土地	52,640	52,640
リース資産	19,767	19,767
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,084,325	△1,132,352
有形固定資産合計	1,179,120	1,181,985
無形固定資産		
のれん	1,124,092	1,100,674
顧客関連資産	1,740,000	1,703,750
商標権	59,572	56,470
ソフトウェア	509,911	478,691
ソフトウェア仮勘定	20,482	29,916
その他	7,152	5,265
無形固定資産合計	3,461,212	3,374,768
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	143,748
敷金及び保証金	404,545	401,113
繰延税金資産	120,315	98,888
長期預金	2,000,000	2,000,000
その他	75,061	80,062
貸倒引当金	△10,952	△10,952
投資その他の資産合計	2,632,729	2,712,861
固定資産合計	7,273,062	7,269,616
資産合計	18,416,629	17,019,247

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,122,896	2,124,428
リース債務	2,882	2,689
未払金	640,948	584,134
未払法人税等	565,743	96,739
預り金	3,858,885	3,406,191
賞与引当金	363,580	27,231
役員賞与引当金	106,913	30,984
損害賠償損失引当金	21,400	21,400
その他	948,206	934,232
流動負債合計	8,631,456	7,228,032
固定負債		
リース債務	13,999	13,359
退職給付に係る負債	537,856	527,116
役員退職慰労引当金	41,552	37,818
繰延税金負債	198,360	326,627
その他	54,633	54,757
固定負債合計	846,401	959,679
負債合計	9,477,857	8,187,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,825,321	5,825,321
利益剰余金	3,285,299	3,245,005
自己株式	△374,986	△429,746
株主資本合計	8,835,635	8,740,580
非支配株主持分	103,136	90,955
純資産合計	8,938,771	8,831,536
負債純資産合計	18,416,629	17,019,247

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	5,650,251	6,158,766
売上原価	3,814,177	4,316,067
売上総利益	1,836,074	1,842,698
販売費及び一般管理費	1,229,832	1,229,164
営業利益	606,242	613,533
営業外収益		
受取利息	3	5,484
受取配当金	—	562
為替差益	10,403	1,862
受取和解金	17,026	—
預託金返還益	—	5,000
雑収入	3,219	5,226
営業外収益合計	30,652	18,136
営業外費用		
支払利息	720	125
支払手数料	752	590
雑損失	8	8
営業外費用合計	1,481	724
経常利益	635,412	630,946
特別利益		
固定資産売却益	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除却損	38	—
特別損失合計	38	—
税金等調整前四半期純利益	635,389	630,946
法人税、住民税及び事業税	85,610	97,315
法人税等調整額	183,641	149,693
法人税等合計	269,252	247,008
四半期純利益	366,137	383,937
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,720	17,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,416	366,914

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	366,137	383,937
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	366,137	383,937
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,416	366,914
非支配株主に係る四半期包括利益	19,720	17,022

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	125,836千円	131,558千円
のれんの償却額	23,418	23,418

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結損益 計算書計上額 （注）2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,908,253	2,741,998	5,650,251	—	5,650,251
セグメント間の内部売上 高又は振替高	236,675	41,218	277,894	△277,894	—
計	3,144,929	2,783,216	5,928,146	△277,894	5,650,251
セグメント利益	474,379	131,265	605,644	597	606,242

（注）1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等597千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	474,379	131,265	605,644	597	606,242
減価償却費	68,824	57,011	125,836	—	125,836
のれんの償却額	—	23,418	23,418	—	23,418
セグメントEBITDA（注）4	543,203	211,696	754,899	597	755,497

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,112,874	3,045,891	6,158,766	—	6,158,766
セグメント間の内部売上 高又は振替高	233,343	43,178	276,522	△276,522	—
計	3,346,218	3,089,070	6,435,289	△276,522	6,158,766
セグメント利益	370,077	241,896	611,973	1,559	613,533

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等1,559千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	370,077	241,896	611,973	1,559	613,533
減価償却費	75,675	55,882	131,558	—	131,558
のれんの償却額	—	23,418	23,418	—	23,418
セグメントEBITDA (注) 4	445,753	321,197	766,950	1,559	768,510

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。